

# 西日本新聞

発行所  
**西日本新聞社**  
 福岡市中央区天神1丁目  
 4番1号(〒810-8721)  
 ©西日本新聞社 2011年

**10月20日**  
 (木曜日)

電話 092(711)5555(代)

報道センター 5222  
 都市圏総局 5225  
 文化部 5260  
 国際部 5207  
 運動部 5230

紙面の問い合わせ  
 読者室 092(711)5331  
 平日10~18時 土曜~14時  
 (日・祝日休み)  
 購読・配達のご案内  
 0120-44-0120 (7~20時)  
<http://nishinippon.co.jp/>

こんな時代だからこそ...  
 中古マンションを検討しませんか?



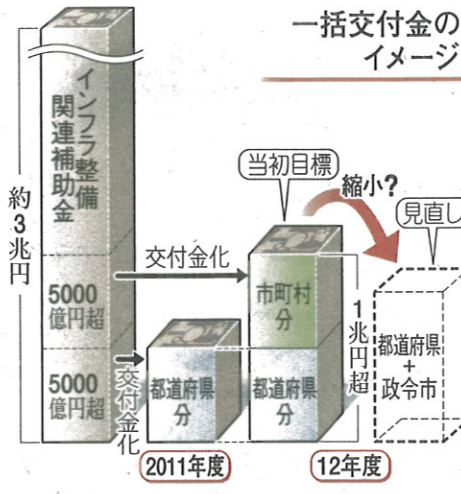
モバイルサイトをチェック!

**MF**  
 .com  
**中古マンション**  
 福岡どっとこむ  
[www.fukuokare.com](http://www.fukuokare.com)

けさの紙面  
**米大統領**  
**芋煮会**  
**タバコ生**  
 ▼社説「日韓

## 一括 政府方針「過疎地不利」意見受け

2012年度から導入予定の市町村向け一括交付金について、政府は19町村は13年度以降に先送



一括交付金 中央省庁が細かく使途を定めている「ひも付き補助金」を東へて地方自治体に渡し、使い道を委ねる制度。民主党が2009年のマニフェスト(政権公約)で主要政策の一つとして掲げた。政府は10年末、

りする方針を固めた。小規模市町村を中心に導入に慎重論があるため、20日に開かれる地域主権戦略会議で議論し、正式決定したい考え。

交付金は11年度に都道府県限定で5千億円超を配分。政府は12年度に市町村向けを5千億円超上積みし、年額で計1兆円超とする目標を掲げている

た政令市から段階的に導入することにした。目標の1兆円超については、都道府県向けの総額を本年度の5千億円超から増やすことで、少しでも近づけたいと考えた。ただ、一括交付金が先送りになっても個別補

### ひと

「〇〇町駅前でお茶できる方はお気軽に御連絡くださいな」。取材の合間に時間が空くとインターネットの交流サイトに書き込む。若者の貧困や恋愛、自殺、引きこもりなどのルポや編著書を出版する傍ら、「さまよえる10代」の支援を続けてきた。昨夏には、中卒・高校中退者のサポートについて相談を寄せた福岡市の主婦らと、就労や起業を応援する一般社団法人「ストリート・プロジェクト」

虐待や貧困で行き場を失った若者の起業を支援するフリーライター **今 一生さん**



「社会的弱者の支援をおせっかいに終わらせない力」は「人ごと」取材者としての生き方に迷う中

「ト」を同市に設立。市民から古本を募り、転売益で若者が格安で暮らせるゲストハウスづくりに挑む。

「社会的弱者の支援をおせっかいに終わらせない力」は「人ごと」取材者としての生き方に迷う中

「じゃない」で、生きる意味を求めてもがく若者たちに向き合い始めた。虐待をどうか」と受けた人々の投稿集「日本一醜い親への手紙」(1997年)3部も1浪して作家が30万部超のヒット。99年の「完全家出マニユアル」で造語した「ブチ家出」は流行語になった。

「勇退し、今君のままで価値がある。誰かの役に立てる」。それを伝えるたくて、出会った若者たちと連絡を取り合う。その中から作家や起業家も生まれた。福岡に「やんちゃな子が多くて元気な街」と期待する。千葉県市原市在住。46歳。(坂本信博)

経営合理化へ  
**東電が工程表**  
 賠償支援機構提案  
 東京電力は19日、福島第1原発事故の賠償で政府から資金援助を受けるための職員を常駐させる。工程表や人員派遣は機